

# 「とやまの水」が モンドセレクション 最高金賞を受賞!

富山市の上下水道局が販売している  
ペットボトル入り水道水「とやまの水」  
がモンドセレクション  
2013で最高位である  
「最高金賞」を受賞しました!



これを記念して、抽選  
で1名様に一箱(24本入  
り)をプレゼントします。  
詳しいお申込みは裏面  
をご覧ください。

とやま  
から  
あなたへ

TOYAMA CITY

T O Y A M A  
C I T Y  
T I M E S

2013  
vol.1

発行部数：3,000部 発行・編集：富山市企画調整課（〒930-8510 富山県富山市新桜町7-38） 発行：平成25年8月  
ご意見・お問い合わせ：TEL.076-443-2010 Email：kikakutyosei-01@city.toyama.lg.jp

立秋をとうに過ぎたにも関わらず残暑が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。  
そんな今回は、しとやかに富山の秋の訪れを告げる「八尾の風情」をお届けします。



格子戸の旅籠宿、土蔵、造り酒屋などが軒を並べる静かな町、富山市八尾(やつお)。閑静でありながらも、人々の生活が感じられる山裾の小さなこの地区に、ほんの3日間だけ、いつ果てることもしれぬ夢幻のうたげが訪れます。

九月二日、三日——おわら風の盆、おわらは、旧町と呼ばれる十一の町が、それぞれの町を中心に行う「町流し」がよく知られています。町流しは「豊年踊り(旧踊り)」という踊りで、風情ある街並みのなかを、ゆったりとした和装の踊り手が踊り連なる姿の美しさには、訪れた多くの人が息をのみます。また、豊年踊りは、町流しだけでなく、輪踊りでも踊られます。

## 八尾の風情

哀調を帯びた胡弓の音色、のびやかな唄声、そして優雅で気品ある踊り——風雅な伝統をいまに伝える「おわら風の盆」が、富山に秋をはこれてきます。

今回は富山を代表する風物詩「おわら風の盆」についてご紹介いたします。

## 特集 おわら風の盆



この豊年踊りのほかに、「男踊り」「女踊り」と呼ばれる主に演舞場で披露される踊りもあります。これらの踊りは、町ごと、人ごとに独自の伝統や個性があり、この時のために磨き抜かれた技は、観客の心を強く惹きつけます。

## おわらの歴史と由来

このように八尾の人々に受け継がれているおわらですが、その起源は古く、江戸中期(元禄の頃)ともいわれています。もともとは賑やかなお祝いのお祭りだったものが、初秋の風を治め、五穀豊穣を祈る行事へと変わり、一越中八尾「おわら風の盆」と呼ばれるようになりました。

この小さな町の催事だったおわらが、全国に知られるようになったのは、小説『風の盆恋歌』(高橋治著、一九八五年)の上梓がきっかけのひとつだったと言われています。年に一度訪れる儂い恋物語を描いたこの小説は、いわば幻想的な「おわら風の盆」の風景そのものといえるかもしれません。



近年では、毎年20万人以上の方々を訪れる「おわら風の盆」ですが、小さい地区で開催されることもあり、開催期間は混雑することもあります。そこで、今回はみなさんにちよっと「通」なおわらの楽しみ方をお知らせします。

まずは前夜祭です。八月下旬には「前夜祭」と呼ばれる行事が開催されており、ここでは、ゆっくりとおわらに親しむことができます。また、来訪者が気軽に輪踊りに入ることができるのも前夜祭の特徴です。

やはり九月の本番を楽しみたいという方には、深夜もお勧めです。町流しが終了し観光客が少なくなる午後十一時以降、気のあった仲間たちだけで町流しが行われることがあります。その気兼ねない踊り姿には、おわら愛する地元の人々の心を感じていただけるでしょう。ただし、必ず見られるわけではありませんので、気長に散策しながら探してみてください。

見るものを幻想的な世界へと誘う「おわら」は、みなさんをお待ちしています。ぜひ九月は富山市八尾へ足をお運びください。

## ちよっと通な楽しみ方

# こんな“八尾”もいかがですか？



実は「おわら」だけでなく、一年を通じて魅力に溢れる八尾地区。  
こちらでは、そんな魅力の一端をご紹介します。



## 街並み



### 諏訪町本通り

「日本の道百選」に選ばれている諏訪町本通り。  
格子戸や白壁の家並みが石畳みと絶妙なコントラストを織り成し、おわら風の盆や曳山が映える街並みとして人気があります。また、両脇には防火・流雪用水路「エンナカ」があり、その水音は八尾らしさを一層引き立てています。

### 八尾の冬の恒例イベント～「夢あかり」



八尾は、石垣の美しい坂の町でもあり、その石垣の家並みをライトアップした光景はとてもロマンチックです。特に冬季の「雪あかり」では、雪に反射した光が街並みを一層引き立て、幻想的な風景を楽しむことができます。

人気作家が「おわら」を描く！

## 八尾を舞台にしたコミック『月影ベイベ』のご紹介

今年6月、八尾を舞台としたコミック『月影ベイベ』の単行本第1巻が小学館より発刊されましたのでご紹介いたします。（本編は月刊フラワーズ（毎月28日頃発売）に連載中）  
作者は「坂道のアポロン」などで知られる人気作家の小玉ユキさん。小玉さんは昨年訪れた「おわら風の盆」で、おわらの情緒や八尾の町の魅力に惹かれ、連載のテーマを決められたとのこと。  
物語は、八尾で生まれ育った高校生「佐伯光」のもとに、東京から、謎めいた少女「峰岸螢子」が転校してくるところから始まり、光はたびたび螢子に翻弄されながらも、「おわら」を通じて少しずつ2人は心を通わせていきますー  
物語中では、地元の協力のもと、富山弁はもちろん、八尾の人々や学生生活がリアルに描かれており、日常におわらが溶け込んでいる八尾の風景が巧みに表現されています。本作を通じて、伝統が生活に息づいている八尾の魅力に、ぜひ触れていただければと思います。  
また、第1巻では明かされていない「謎」や、2人の仲の行方など、物語の今後の展開にもご期待ください。



単行本は新書版  
192ページ、450円

## 越中八尾曳山祭



## 曳山

江戸時代には街道の拠点として飛騨との交易や売薬、養蚕などで富山藩の財政を支えた八尾。その栄華を極めた町人文化の象徴であった曳山神事は、今もお伝承され、5月3日には迫力ある「越中八尾曳山祭」がおこなわれます。井波の彫刻、高岡の彫金、城端の漆工など越中美術工芸の粋を集めた豪華絢爛な彫刻山が八尾の町を練る姿は圧巻です。

普段は曳山展示館（富山市八尾上新町2898-1）に常時3台が展示されていますので、こちらもどうぞお気軽にお立ち寄りください。

## ご意見・ご要望をお待ちしております。抽選で「とやまの水」（1箱：24本入り）をプレゼント！

富山市では、本紙に対するご意見・ご要望をお待ちしております。①住所②氏名③良かった記事④その他ご意見等を記載の上、はがきもしくはメールにて9月20日必着で送付してください。抽選で1名様に、「2013年モンドセレクション」で「最高金賞」を受賞した「とやまの水」を1箱（24本）プレゼントします。 ※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

（宛先）〒930-8510 富山県富山市新桜町7-38 富山市企画調整課（メールアドレス）kikakutyosei-01@city.toyama.lg.jp